



第31回地域づくり団体全国研修交流会福井大会 第5分科会（小浜市・若狭町）に参加された24名の中のお一人で、実行委員全員が強烈に印象に残った女性、群馬県伊勢崎市の杉原みち子様の小浜西組の感想をお聞きしました。



小浜西組に出会って ～感動・感謝・余韻～

街づくり市民ゼミナール 代表 杉原みち子

平成25年11月16日（土）、17日（日）とすばらしい企画による視察研修では、深い学びと気づきをありがとうございました。感動、感動、感動の連続でした。

マスタープランの一文「人は町にとって血液であり命そのものである」私達がしなければならないのは「町のにぎわい」と「文化の継承」品格のある表現にしばれました。高知大会から参加している私にとっては新鮮なハイレベルの学びでした。

小浜西組は100年後を見通す優秀なリーダーと地域を愛するフィロソフィーが確立されているので考え方、行動プロセスがわかりやすく、とても内容の濃い充実した研修でした。（フィロソフィー：ギリシア語で「愛」「知」という意味）

一般に事例発表は代表のみということが多いのですが、常高寺では実行委員長のご住職が不動産関係者、建築設計者、元教師、環境整備の方にお声をかけられ、それぞれ違った切り口からの発言により活動への理解が深まり、その発表の進め方からも学ばせて頂きました。





夕闇の中の探訪では、生活の温もりが伝わってくる家並や一門一灯のあんどんとベンガラ格子の奥からもれる灯りの美しさにため息。かつて北前船で栄華を誇った旦那衆の粋な遊びが聞こえてきそうな艶っほい“料亭たる井”など三丁町界限ではタイムスリップしたような時空に身をゆだね、伝統の美を堪能させていただきました。



交流会場では女性群は和服にお色直しされ、同じ人とは思えないほどのバージョンアップ。同性でも眩しいほどでした。さすが絹織物日本一と社会進出No.1の福井県です。

鯖尽くしのメニューによる「お・も・て・な・し」に海なし県民の私は新鮮なお刺身を前に目も口となり夢中。若狭町長の森下様に「我々は刺身は切るだけなので、手のかかった物しか食べない」と私の食べっぷりを笑われましたが、食べ方もイロイロです。大風呂も一人占めで大満足。

小浜でのあまりの感動に余韻さめやらず「ふくいブランドハンドブック」を愛読してありましたら、石野様からレポートの依頼がございました。お一人ひとりのお顔が蘇って参りました。私の仲間（法人会女性部会）にも味わってもらいたいと切に願っております。

丁稚羊羹のご接待、そここに活かされた季節の花々、丁寧なお見送りなど私にとりまして光り輝く人生の一ページとなりました。心より感謝申し上げます。



ベンガラ格子補修体験に参加して

岡村 洋 (小浜鈴鹿)

私は現在、県外の大学でまちづくりについて学んでいる小浜出身の学生で、卒業研究の一環として、この小浜西組に残された素晴らしい町並みについて研究させていただいている。そして今回、その町並みの特徴の一つであるベンガラ格子の補修に実際に体験しないかというお誘いを受け、補修体験に参加させていただいた。

当日の11月24日は天候にも恵まれ、澄んだ秋晴れの下、絶好の補修体験日和だった。補修体験開始30分前、私は少し早めに今回補修を行う小浜公園の公衆トイレに赴き、補修前の格子を見てみた。そこには雨に打たれ、潮風に晒され、ベンガラの塗装が剥げてしまった格子があった。その姿に少し残念な気持ちになったが、それ以上にこの状態から、あの綺麗なベンガラ格子に自らの手で直せるのかと思うと嬉しく思えた。そうこうしている内に体験に参加される地域の方々が集まり、補修体験が始まった。

はじめに、今回の補修体験の指導をしていただく村松様からベンガラ格子についての説明があった後、補修作業に入った。途中京都の宇治から観光に来られた観光客の方が飛び入りで塗装体験に参加。観光客の方と一緒に楽しく体験することができた。塗装は思ったよりも難しいものではなく、初心者の私でも慣れればそれなりに塗装することができた。完成したベンガラ格子を見ると、補修前と後で外観の様相が大きく異なり、建物の雰囲気も西組の町並みに溶け込んで、落ち着いた良いものに仕上がったと思える。それを自分の手で行えたと思うと嬉しさも一入だ。

私は大学で様々な地域のまちづくりについて学んできたが、西組の町並みは他の地域に全く劣っていない。平成20年に重要伝統的建造物群に選定され今年で5年、西組のまちづくりはまだまだこれからという所だ。小浜西



組の“今日まで残されている”貴重な町並みを住民が誇りに思い、後世に残していくためにも、今回のような補修体験は今後とも続けていって欲しいと思う。

第31回地域づくり団体全国研修交流会福井大会 第5分科会(小浜市・若狭町)
アンケート結果は下記のとおりです。小浜西組(周辺も含む)に限定して掲載

設問1 分科会に参加して、印象に残った内容は何か？

- * 町家、家並みを残す取り組み。特に新築された建物でも町並みに合うように工夫をこらされているところがすばらしい。民度の高さを感じました。
- * 着物姿が粋でよかったです。
- * 荒れ果てた旧家を修復して元の姿にもどして町を再生している努力が良かった。
- * 小浜西組の方が町並みという文化を大切にしていた。また、そこに住んでおられる方々の協力がすばらしいと感じました。
- * 商店街が暗い。ほとんどのお店のシャッターがおりていた。魚屋の値段の高いのにびっくり。
- * 夜の散策・小浜西組三丁町
- * 伝統的な町並みがきちんと保存されており感動しました。
- * ベンガラ格子から部屋の灯りがこぼれる風景が幻想的でした。視察中に数軒、修理修景中の建物があり町づくりに積極的な市民の姿勢を感じました。
- * 格子の残る町並み、特に三丁町の風情ある佇まいが印象に残りました。鯖街道も脚光を浴びることを期待しています。
- * 重伝建地区の生活と保有についてのおずかしさを痛切に考えさせられました。

設問2 改善した方が良く感じた内容は何か？

- * 活動について…改善点を指摘できるほど活動内容をしりませんので特にありません。
- * 分科会運営について…まち歩きに終始し、問題点や課題の提案がありませんでした。(ないように感じました)
- * 夜遅く町を歩くと真っ暗でよくわかりませんでした。
- * もう少し少人数のグループに分けて視察ができればより良かったのではないかと思います。
- * 空き家の問題もありますが、ソフト事業の移住施策が有効な時期にきていると思います。お試し移住やアーティスト・イン・レジデンスなどされてみると面白いかなと思います。

小浜西組町並み協議会からのお知らせ

町並み保存資料館企画委員会 生け花教室のご案内 (お正月用花)

日 時／平成25年12月28日(土) 午前10時～12時／午後2時～4時の2回

講 師／澤口妙子先生 (常盤未生流)

費 用／盛り花…2,300円程度 万年青…2,500円程度

申込先／澤口先生まで (53-2327)

■ 年末年始 町並み保存資料館休館日

平成25年12月28日(土)～平成26年1月5日(日)

■ 開館時間が冬時間になっています

平成25年12月1日～平成26年3月31日 午前10時～午後4時まで

